

みえ現場 de 県議会

「観光・交流の推進～地域の観光資源が光輝く未来へ～」実施概要

- 1 日時・場所 平成30年1月22日（月）13時30分～15時30分
鳥羽マリンターミナル2階 交流ラウンジ

- 2 テーマ 「観光・交流の推進～地域の観光資源が光輝く未来へ～」

＜テーマの選定理由＞

「鳥羽・志摩の海女漁業と真珠養殖業」の日本農業遺産への登録や鳥羽市における「海女のまち条例」の制定など海女と真珠に注目が集まる中、観光資源を活用した体験型観光・イベントによる交流を通じて、県内の各地域が持つ魅力が国内外に広がりつつあります。今後も地域の資源を最大限に生かしながら、観光・交流を引き続き推進することで、地域の観光振興へとつなげていく必要があります。

そこで、三重県議会では、海女や真珠など地域の観光資源に関わっている方々、一般公募の県民の方から、地域の観光資源を生かしながら観光・交流を推進していく上での課題や県に期待すること等に関する意見を直接お聞きし、今後の議会での議論に反映していきます。

3 参加者等

- ・地域の観光資源や観光推進に関わっている方 3人
- ・一般公募の方 4人
- ・県議会議員 13人 ○印は広聴広報会議委員

舟橋裕幸議長、

○水谷隆副議長（広聴広報会議座長）、○芳野正英議員、○中瀬古初美議員、
○濱井初男議員（戦略企画雇用経済常任委員長）、○後藤健一議員、
○木津直樹議員、○田中祐治議員（環境生活農林水産常任委員長）、
○野口正議員、○山本里香議員、○倉本崇弘議員、○野村保夫議員、
下野幸助議員（総務地域連携常任委員長）

- ・傍聴議員 8人

山本教和議員、中村進一議員、長田隆尚議員、中嶋年規議員、津村衛議員、
石田成生議員、東豊議員、彦坂公之議員

- ・傍聴者 8人

4 プログラム

- (1) 開会 挨拶（舟橋裕幸議長）
- (2) 趣旨説明
- (3) 参加者から現在の活動状況等
- (4) 意見交換
- (5) 閉会 挨拶（水谷隆副議長）

5 主な意見等

(現状と課題)

- カヌー競技の大会をみんなが見に行きやすい場所で開催して、多くの人に見てもらって、理解されやすい形で大会ができればいい。
- 飯南高校の活性化のため、カヌークラブができて、カヌーができる高校ということになれば人気も上がるのではないかな。
- 地域の観光拠点である道の駅と連携して公園や遊歩道等を整備していくというようなところは、行政の力がなくうまくいかない。
- 素晴らしい景観が楽しめる櫛田川の魅力の発信を地域の方たちと一緒にやっていかなくてはいけないと思う。これからネットでこういう情報をもっと発信していく必要がある。
- 外国人観光客に対しては、最初、本当に言葉がわからなくて、手振り身振りでお手伝いしていたが、言葉が話せなくても伝わることもあると思う。
- 伊勢市に観光に来ていただいた方から、「人がいい」、「人懐っこい」ということをよく言われる。そこがおもてなしの一番の部分で、魅力のように感じる方が非常に多い。
- 公共交通機関があまり充実していない。そこに行くのはいいが、そこから違う所に移動しようとするのが難しい。
- マイカーで来ていただく方はいいが、公共交通機関がうまくいっていないということで、案内もうまくいっていない。
- 外国人は自分たちの視点と違うところを面白がるというところがあるが、外国人だけでなく日本人でも都会の方にとって、この伊勢志摩の目線が違う面白いところを自分たちで知るといふことをしないといけない。
- 観光PRについて、インスタグラムやフェイスブック、ブログなどに力を入れて広げた方が今の時代に合っているのではないかな。
- 情報をきちんと提供して、満足してもらうことがリピーターにつながる。リピーターをつくるのに非常に重要ではないかと思う。
- 伊勢志摩の資源は非常に限られている。多く人が来られても困るというところもあるので、何人くらいが適正か、いろいろ考えている。持続可能ということも観光で考えていかないといけないのではないかなと思う。
- 看板の設置は景観が損なわれるので、あまり目立ったような看板はできないというのが現状である。
- 地元の人たちはみんなあたたかい人が多いので、その人たちと関わっていただくことが何よりの旅の思い出になるのではないかなと思う。
- どこの店でおばちゃんと会話したとか、教えてもらったことというのは鮮明に覚えている。そういうことをきっかけにリピーターになってくれるのではないかなと思う。
- これから光輝く未来へ行くには、この先担う人たち、子どもたちや若者にもっと目を向けていただけるような仕組みができると、今携わっている人たちもバトンを渡しやすい。
- 三重県を好きになってもらう、そういうことが本当に心から思えるような環境が充実してくると全体が元気になって、どこにも負けない観光地になれると思う。
- 一番効果があるのはテレビに出ることだが、テレビを見ている人たちの年代がフィ

ットしないと、見ていた方でも一步目がでないこともあると思う。

- 最近では、全世界に配信されているユーチューブというメディアで、お肉を焼いているところやお茶を入れている様子を見て、それをしてみたいという方が訪れるということは多々あって、少しずつ変わってきていると思う。
- 小さな団体がしているというよりは、三重県全体でここを応援しているというお墨付きのような形で、一つではなく全体の観光推進の気持ちの表れであるというようなものが付いていると、より一層広がっていく。
- 英虞湾に浮かぶ真珠いかだの絶景、青海苔の張られている風景を都会の方は日本の原風景と言われるので、そういうところに魅力を感じて伊勢志摩に来ていただいていると思う。

(提案・展望)

- 外国人の方にも理解できる色や数字といったもので、ある程度の場所がわかるような統一的な仕組みが、伊勢志摩地域をモデルケースにして三重県でできないか。また、特に一次産業で連携をしていくことが大事。志摩の場合、農業、漁業での連携が必要である。
- 高校卒業後、海女小屋の体験施設で普段の生活費を稼いでプロの海女になっていただくというような流れを、時間をかけてつukれないか。そういうことをして循環型の社会をつくっていかないといけないと思う。
- 高校生は進学するか、就職するか、学校教育の中でだいたい二者択一であるが、今の時代は起業するという新しい道もあるのではないか。新しいことをつくっていくといったことを教育に盛り込んでいただいて、地方創生に結びつけてほしい。
- アプリソフトの作成やニュースレターを発行してはどうか。
- 地域の中で、名物になるような人、人を喜ばせてあげられるような人たちが、志摩にもたくさんいるので、そういう人たちを発掘、ピックアップしていったらいいと思う。
- 多方面にわたる全てのプランが地域で叶うような、全てが繋がっていくようなことがプランとして立てていただいたらいいのではないかと思う。
- 人、地元の人たちが何よりの観光資源ではないかと思う。自分の地域をより好きに、大事に思っている人がもっと多くなればと良いと思う。
- 三重県には本当にキラキラしたものがいっぱいある。地元の人でもそれに気づかないといけないし、来ていただいた方も本当だと共感するには、気づくことが大事になる。日頃から自分の町を見て気づくという気持ちを少しずつみんなが共有できるような町になっていけたらと思う。

(要望)

- メディアの力はすごくて、私たちも多少有名になれたのはメディアのおかげだが、後悔していることもある。色んなことを発信すると批判を受けることもあるので、三重県や鳥羽市が窓口となってほしいところはある。
- アワビが年々減っているので放流をたくさんお願いしたい。
- 最近、宿泊施設で南京虫の被害が出ている。駆除するのに非常に経費がかかることもあり、国としてなのか県としてなのかわからないがそういうところの取り組みが

- 必要かと思っているので、是非検討をお願いしたい。
○情報交換のためにこういう場をつくっていただけると非常にありがたいと思う。

6 会場アンケートで寄せられた主な意見、感想など（参加者、傍聴者）

【全般について】

- 参加者の方の発言も多く参考にできる意見も多くて良かった。
- たくさんの方たちのお話を聞かせていただいてとても多くのヒントを得ることができました。ありがとうございました。
- 伝えたいことが十分にできたと思います。観光交流の色々な意見がきけて、有意義な機会でした。
- 参加者の方々がのびのびと活発に発言されていた。時々流れるターミナルのアナウンスが良い味を出していた。参加者の発言で、適正規模、持続可能な集客数を見極めることが大事だといわれたところ、気に入りました。
- 参加者の意見が活発で参考になりました。県議会の議論にも活かしてもらいたいです。
- 様々な人の活動や意見を聞けることはありがたい。
- 観光交流なのに範囲が狭すぎます。志摩・鳥羽・松阪・伊勢の意見では本質を見ることはできない。北勢・中部・志摩・伊賀・南三重での意見交換をお願いしたい。
- 時間が少ないから無理かもしれませんが、県議の人からもう少し質問してほしい。一般的に、質問された方が答えやすいのではないか。

【運営等について】

- いろんな立場の方々の意見を広く聞けるよい場だと思います。あちこちで開催してください。
- 良い取り組みだとは思いますが、もう少し的を絞って（地域・職種）参加者を集めれば、結論が出やすいのかなと思いました。
- 傍聴に行ったのですが、仕事で急用が入り、始まる前に退出しました。内容を聞くことが出来なかったのが非常に残念でした。
- 今回準備が間に合わなかったのも、次回には発表させて頂こうと思っていましたが、毎回テーマが変わるとお聞きしました。できれば、観光のテーマは、定期的に取り上げて頂きたいと思います。宜しくお願いします。